

環境学習コーディネート実施概要（Web 掲載）

依頼№	1	事例№	1	依頼者	東邦ガス株式会社 ガスエネルギー館	実施場所	ガスエネルギー館 会議室、ビオトープ広場
実施対象	小学1年生～6年生（午前 22名・午後 18名、計 40名）とその保護者（合計 78名）						
実施日時	令和5年6月18日（日） 10時30分～11時45分、13時30分～14時45分						
テーマ	「ふしぎな万華鏡を作って、自然の世界を見よう！」（「環境」についての啓発）						

●依頼内容

東海3県在住の小学校1年生～6年生の児童とその保護者を対象に、工作を取り入れた環境学習講座を実施いただける講師を紹介してほしい。

●講師：村瀬政彦 氏（愛知県地球温暖化防止活動推進員、あいち eco ティーチャー）

村瀬政彦氏は、ごみ・資源循環・3R、エネルギー問題などを専門とされ、愛知県地球温暖化防止活動推進員であるとともに、「あいち地球温暖化対策人材登録・紹介ネット（温暖化まなびネット）」、「あいち eco ティーチャー」にも登録されている。

●授業の内容（午前、午後ともに同じ内容で授業を実施）

講義	地球環境問題について	自己紹介の後、SDGs や地球温暖化、生物多様性、プラスチックごみによる海洋汚染、食品ロスといった地球環境に関わる様々な問題について、講師からパワーポイントを使って説明が行われた。	20 分
工作	万華鏡づくり	最初に、講師から万華鏡の仕組みについて説明があった。万華鏡は、筒の内側に鏡を貼った3枚の板を三角形にして入れてあり、鏡の働きによって変化する映像を楽しむことができるということを学んだ。次に、万華鏡の作り方について説明があり、子どもたちは保護者に手伝ってもらいながら、万華鏡づくりに取り組んでいた。	10 分
	屋外（ビオトープ広場）に移動		5 分
	万華鏡の材料集め	参加者は、講師からアドバイスを受けながら、万華鏡の材料となる、草花や生き物を探した。	15 分
	教室に移動		5 分
	鑑賞会	参加者は、ビオトープ広場で自ら集めた材料を、万華鏡の筒の中に入れて、万華鏡を完成させた。その後、万華鏡の内部をスクリーンに映し出し、みんなで万華鏡の不思議な世界を楽しんだ。	20 分

●授業の様子

環境学習講座は、午前と午後の2回、同じ内容で開催された。各々20名前後の児童とその保護者が参加された。講座前半の講義では、地球温暖化の原因と影響や対策、生物多様性が失われつつある実態、プラスチックごみによる海洋汚染や生き物への影響、地球上における食べ物や水不足の問題と食品ロスを出さないことの大切さなどについて、それぞれ SDGs と絡めながら説明が行われ、子どもたちは興味深そうに話を聞いていた。講義の後、子どもたちは保護者とともに万華鏡づくりに取り組んだ。万華鏡の材料集めでは、何を入れたらきれいに見えるかを考えながら、楽しそうに草花や虫を探していた。子どもたちは、万華鏡が完成すると、筒をくるくる回しながらのぞき込み、歓声を上げていた。

講義では、SDGs や地球環境問題などについて学んだ。



子どもたちは、保護者とともに万華鏡づくりに取り組んだ。

